

令和元年度
第 63 回 簿 記 検 定 試 験
1 級 (会 計)
問 題 用 紙

(制限時間 1 時間30分)

(令和元年12月 8 日施行)

— 受験上の諸注意 —

- ・ 答案はすべて答案用紙に記入すること。
- ・ すべての答案用紙に受験番号を記入すること。
- ・ その他答案の作成にあたっては、教科書に基づき日頃
学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・
迅速・整然と記帳すること。

佐賀県高等学校教育研究会商業部会主催

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金預金	当座預金	受取手形	不渡手形
売掛金	売買目的有価証券	繰越商品	未収金
備品	備品減価償却累計額	のれん	その他有価証券
支払手形	買掛金	未払金	役員賞与引当金
保証債務	社債	資本金	資本準備金
その他資本剰余金	利益準備金	売上	受取手数料
受取利息	仕入割引	保証債務取崩益	社債償還益
固定資産売却益	仕入	減価償却費	保証債務費用
支払利息	売上割引	創立費	株式交付費
社債償還損	固定資産売却損	割賦販売契約	割賦仮売上

- (1) 多久商店に売価 ¥5,040,000 の商品を36回の均等分割払いの契約で販売していたが、本日、第12回目の割賦金を現金で受け取った。ただし、収益の計上は回収基準により、割賦販売契約・割賦仮売上との対照勘定を用いて処理している。
- (2) 第8期（決算年/回）初頭に備品を ¥830,000 で買い入れ、この代金はこれまで使用してきた備品を ¥390,000 で引き取らせ、新しい備品の代金との差額は月末に支払うことにした。ただし、この古い備品は第6期初頭に ¥720,000 で買い入れたもので、定率法により毎期の償却率を25%として減価償却費を計算し、間接法で記帳してきた。
- (3) かねて、商品代金の支払いとして鳥栖商店に裏書譲渡していた唐津商店振り出しの約束手形が期日に不渡りとなり、償還請求を受けた。よって、手形金額および期日以後の利息 ¥7,000 とともに小切手 ¥1,407,000 を振り出して支払い、同時に唐津商店に支払請求をおこなった。なお、この手形を裏書したさいに手形金額の2%の保証債務を計上している。
- (4) 鹿島商事株式会社は、事業拡張のため、株式800株を1株につき ¥92,000で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、払込金額のうち、資本金に計上しない金額は、会社法に規定する最高限度額とした。なお、株式の発行に要した諸費用 ¥530,000 は小切手を振り出して支払った。
- (5) 株主総会の決議により役員賞与 ¥1,300,000 の支払いが決議され、現金で支給した。なお、この支給に対して役員賞与引当金 ¥2,000,000 が設定されている。
- (6) 有田物産株式会社（決算年/回）は、次の条件で第1/期初頭に発行した社債のうち、 ¥15,000,000 を第1/7期初頭に額面 ¥100につき ¥99.60 で買入償還し、小切手を振り出して支払った。なお、社債の評価は償却原価法（定額法）によっている。

発行条件	額面総額 ¥70,000,000	払込金額	額面 ¥100につき ¥98.70
	償還期限 10年	利 率	年1.4%

- (7) 武雄商事株式会社は、下記の財政状態の神埼商会株式会社を合併することになり、時価総額 ¥13,000,000 の新株式を神埼商会株式会社の株主に交付した。この合併によって武雄商事株式会社において増加する資本金の額は ¥10,000,000 その他資本剰余金の額は ¥3,000,000 とする。なお、神埼商会株式会社の資産と負債の時価は、帳簿価額に等しいものとする。

神埼商会株式会社	貸借対照表	(単位：円)
現金	3,100,000	買掛金 4,480,000
売掛金	8,380,000	資本金 11,200,000
備品	5,400,000	利益準備金 1,200,000
	16,880,000	16,880,000

- (8) 伊万里商店に対する売掛金 ¥880,000 を期日前に受け取ることで、契約によって2%の割引をおこなっていたが、誤って、売上値引を行ったように処理していたので、本日、これを訂正した。

2

- (1) 山内商事株式会社は、平成30年9月/日に福岡商会（個人企業）を取得した。よって、下記の資料と貸借対照表により福岡商会ののれんの代価を求めなさい。

資料

- i 福岡商会の資産と負債の時価は、帳簿価額に等しい。
- ii 収益還元価値を求め、取得の対価とする。
- iii 福岡商会の平均利益額 ¥280,000
- iv 同種企業の平均利益率8%

貸借対照表			
福岡商会	平成30年9月/日	(単位：円)	
現金預金	864,000	支払手形	172,000
売掛金	451,000	買掛金	400,000
商品	100,000	資本金	2,558,000
建物	493,000		
備品	82,000		
土地	1,140,000		
	3,130,000		3,130,000

- (2) 上峰物産株式会社は決算につき、取引銀行から当座預金の残高証明書を取り寄せたところ、その残高は ¥439,000 であった。なお、当社の当座預金勘定の期末残高は、 ¥517,000 であった。そこで、不一致の原因を調査した結果、次の資料を得た。よって、当座預金勘定の次期繰越高を答えなさい。

- ア. 決算日において現金 ¥81,000 を夜間金庫に預け入れたが、銀行では翌日付けの入金として処理された。
- イ. 仕入先に対する買掛金の支払いのために小切手 ¥30,000 を作成し、当座預金の減少として処理していたが、決算日現在、仕入先にまだ渡していなかった。
- ウ. 得意先から売掛金の回収として、 ¥47,000 が当座預金口座に振り込まれていたが、当社では誤って ¥74,000 として記帳していた。

- (3) 次の2つの工事について、当期の工事収益を求めなさい。

- ① 当期に、3年後完成の予定で請け負った次の工事について、工事進行基準により工事収益を計上する。
- i 工事収益総額は ¥662,600,000 であり、工事原価総額は ¥452,400,000 と見積もることができた。
- ii 当期発生工事原価は ¥135,720,000 であった。
- ② 前期に請け負った次の工事が当期に完成し、引き渡した。よって、工事完成基準により工事収益を計上する。
- i 工事収益総額は ¥168,000,000 であり、工事原価総額は合理的に見積もることができなかった。
- ii 実際発生工事原価は、前期が ¥42,336,000、当期が ¥78,624,000 であった。

(4) 下記の嬉野商事株式会社の貸借対照表は次のとおりであった。よって、この会社の①流動比率 ②固定比率 ③総資本回転率 ④商品回転率（売上原価と商品平均有高を使用）を答えなさい。

ただし、この会社の本年度の商品売上高は ¥23,492,000 売上原価は ¥17,640,000 期首商品棚卸高は ¥1,845,000 である。

貸借対照表			
嬉野商事株式会社		平成31年3月31日	
		(単位：円)	
資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現金預金	2,435,000	支払手形	1,746,000
売掛金	2,928,000	買掛金	1,716,000
有価証券	1,198,000	短期借入金	738,000
商品	1,755,000	社債	3,380,000
建物	7,353,000	資本金	6,000,000
備品	1,111,000	資本準備金	1,740,000
		利益準備金	1,460,000
	16,780,000		16,780,000

- 3 次各文の () にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群の中から選び、その番号を記入しなさい。
- (1) 企業会計の実務のなかに慣習として発達したもののなかから、一般に公正妥当と認められたところを要約したものが (①) である。このなかの一般原則は七つの原則から構成されており、そのうち、企業の財政に不利な影響を及ぼす可能性がある場合には、これに備えて適当に健全な会計処理をしなければならないとするものを (②) という。
- (2) 企業会計において、株主、債権者、国・地方公共団体などの企業の利害関係者に対して、財政状態や経営成績などの会計情報を提供する分野の会計を (③) という。財務諸表のうちの一つで、貸借対照表の純資産の部に記載される各項目の期中の変動などを示すものを (④) という。

語群			
1. 株主資本等変動計算書	2. 正規の簿記の原則	3. 附属明細表	4. 財務会計
5. 管理会計	6. 企業会計原則	7. 保守主義の原則	8. 真实性の原則

- 4 佐賀商事株式会社の総勘定元帳勘定残高および決算整理事項は、次のとおりである。
- よって、 (1) 決算整理事項の仕訳を示しなさい。
- (2) 報告式の貸借対照表を完成させなさい。
- ただし、 i 会社計算規則によること。
- ii 会計期間は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までとする。

元帳勘定残高			
現金	¥ 1,651,000	当座預金	¥ 2,070,000
売掛金	4,100,000	貸倒引当金	94,000
繰越商品	4,868,000	仮払法人税等	1,946,000
建物減価償却累計額	1,470,000	備品	3,260,000
土地	3,000,000	特許権	497,000
その他有価証券	560,000	支払手形	2,204,000
長期借入金	4,000,000	退職給付引当金	1,983,000
資本準備金	484,000	利益準備金	778,000
繰越利益剰余金	547,000	売上	44,540,000
受取配当金	120,000	固定資産売却益	439,000
給料	1,525,000	広告料	1,040,000
保険料	800,000	水道光熱費	322,000
雑費	179,000	支払利息	89,000
		受取手形	¥ 2,020,000
		売買目的有価証券	2,970,000
		建物	7,350,000
		備品減価償却累計額	652,000
		満期保有目的債券	1,773,000
		買掛金	3,254,000
		資本金	9,156,000
		別途積立金	230,000
		有価証券利息	62,000
		仕入	29,210,000
		支払家賃	506,000
		租税公課	277,000

- 決算整理事項
- a. 期末商品棚卸高 帳簿棚卸数量 1,100個 原 価 @ ¥3,720
実地棚卸数量 1,050ヶ 正味売却価額 ヲ 3,660
ただし、棚卸減耗損と商品評価損は、売上原価の内訳科目とする。
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 有価証券評価高 保有する株式は次のとおりである。
売買目的有価証券：杵島建設株式会社 50株 時価 1株 ¥60,000
満期保有目的債券：償却原価法によって ¥1,830,000 に評価する。
その他有価証券：大町商事株式会社 10株 時価 1株 ¥62,400
- d. 減価償却高 建物：定額法により、残存価額は零 (0)、耐用年数は35年とする。
備品：定率法により、毎期の償却率を20%とする。
- e. 特許権償却高 特許権は、前期首に取得したものであり、取得の時から8年間にわたり定額法によって償却している。
- f. 家賃未払高 ¥ 253,000
- g. 退職給付引当金繰入額 ¥ 217,000
- h. 法人税・住民税及び事業税額 ¥ 3,140,000

令和元年度

第 63 回 簿 記 検 定 試 験

1 級 (会 計)

答 案 用 紙

(制限時間 1 時間30分)

(令和元年12月 8 日施行)

佐賀県高等学校教育研究会商業部会主催

1

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		

受験番号	①	②	③	④	総得点

2

(1)	のれんの代価 $\%$	
(2)	当座預金勘定の次期繰越高 $\%$	
(3)	①	$\%$
	②	$\%$
(4)	①	流動比率 %
	②	固定比率 %
	③	総資本回転率 回
	④	商品回転率 回

3

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

受験番号	②	③

4 (1) 決算整理事項

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		
h		

受験番号	④(1)

4 (2)

佐賀商事株式会社

貸借対照表
平成37年3月31日

(単位：円)

資産の部			
I 流動資産			
1. 現金預金		()	
2. 受取手形	2,020,000	()	
貸倒引当金	()	()	
3. 売掛金	4,100,000	()	
貸倒引当金	()	()	
4. ()		()	
5. ()		()	
流動資産合計		()	
II 固定資産			
(1) 有形固定資産			
1. 建物	7,350,000	()	
減価償却累計額	()	()	
2. 備品	3,260,000	()	
減価償却累計額	()	()	
3. 土地		3,000,000	
有形固定資産合計		()	
(2) 無形固定資産			
1. ()		()	
無形固定資産合計		()	
(3) 投資その他の資産			
1. 投資有価証券		()	
投資その他の資産合計		()	
固定資産合計		()	
資産合計		()	
負債の部			
I 流動負債			
1. 支払手形		2,204,000	
2. 買掛金		3,254,000	
3. ()		()	
4. 未払法人税等		()	
流動負債合計		()	
II 固定負債			
1. 長期借入金		4,000,000	
2. 退職給付引当金		()	
固定負債合計		()	
負債合計		()	
純資産の部			
I 株主資本			
(1) 資本金			9,156,000
(2) 資本剰余金			
1. 資本準備金		()	
資本剰余金合計		()	
(3) 利益剰余金			
1. 利益準備金		()	
2. その他利益剰余金			
① 別途積立金		()	
② 繰越利益剰余金		()	
利益剰余金合計		()	
株主資本合計		()	
II 評価・換算差額等			
1. その他有価証券評価差額金		()	
評価・換算差額等合計		()	
純資産合計		()	
負債及び純資産合計		()	

④(2)

4	(2)	貸借対照表		
佐賀商事株式会社		平成37年3月31日		(単位：円)
		資産の部		
I	流動資産			
1.	現金預金		3,727,000	*
2.	受取手形	2,020,000		
	貸倒引当金	(40,400)	(1,979,600)	
3.	売掛金	4,100,000		
	貸倒引当金	(82,000)	(4,018,000)	
4.	(有価証券)		(3,000,000)	
5.	【商(品)】		(3,843,000)	*
流動資産合計			(16,561,600)	
II	固定資産			
(1)	有形固定資産			
1.	建物	7,350,000		
	減価償却累計額	(1,680,000)	(5,670,000)	
2.	備品	3,260,000		
	減価償却累計額	(1,173,600)	(2,086,400)	*
3.	土地		3,000,000	
有形固定資産合計			(10,756,400)	
(2)	無形固定資産			
1.	(特許権)		(426,000)	
無形固定資産合計			(426,000)	
(3)	投資その他の資産			
1.	投資有価証券		(2,454,000)	*
投資その他の資産合計			(2,454,000)	
固定資産合計			(13,636,400)	
資産合計			(30,198,000)	
		負債の部		
I	流動負債			
1.	支払手形	2,204,000		
2.	買掛金	3,254,000		
3.	【未払費用】		(253,000)	*
4.	未払法人税等		(1,194,000)	
流動負債合計			(6,905,000)	
II	固定負債			
1.	長期借入金	4,000,000		
2.	退職給付引当金	(2,200,000)		
固定負債合計			(6,200,000)	
負債合計			(13,105,000)	
		純資産の部		
I	株主資本			
(1)	資本金		9,156,000	
(2)	資本剰余金			
1.	資本準備金	(484,000)		
資本剰余金合計			(484,000)	
(3)	利益剰余金			
1.	利益準備金	(778,000)		
2.	その他利益剰余金			
①	別途積立金	(230,000)		
②	繰越利益剰余金		(6,387,000)	*
利益剰余金合計			(7,389,000)	
株主資本合計			(17,029,000)	
II	評価・換算差額等			
1.	その他有価証券評価差額金	(64,000)		
評価・換算差額等合計			(64,000)	
純資産合計			(17,093,000)	
負債及び純資産合計			(30,198,000)	

④(2)

※4点×6=24点

1

令和元年度				
第63回簿記検定試験				
1級(会計)				
採点基準				(令和元年12月8日施行)
	借方		貸方	
(1)	現金 割賦販売上	140,000 140,000	売上 割賦販売契約	140,000 140,000
(2)	備品減価償却累計額 備品 固定資産売却損	315,000 830,000 15,000	備品 未払金	720,000 440,000
(3)	不渡手形 保証債務	1,407,000 28,000	当座預金 保証債務取崩益	1,407,000 28,000
(4)	当座預金 株式交付費	73,600,000 530,000	資本金 資本準備金 当座預金	36,800,000 36,800,000 530,000
(5)	役員賞与引当金	1,300,000	現金	1,300,000
(6)	社債 社債償還損	14,922,000 18,000	当座預金	14,940,000
(7)	現金 売掛金 備品 のれん	3,100,000 8,380,000 5,400,000 600,000	買掛金 資本金 その他資本剰余金	4,480,000 10,000,000 3,000,000
(8)	売上割引	17,600	売上	17,600
①	②	③	④	総得点
4点×8=32点	3点×8=24点	2点×4=8点	4点×9=36点	100点

2

(1)	の れ ん の 代 価 ¥ 942,000	
(2)	当座預金勘定の次期繰越高 ¥ 520,000	
(3)	①	¥ 198,780,000
	②	¥ 168,000,000
(4)	①	流 動 比 率 198%
	②	固 定 比 率 9.2%
	③	総資本回転率 1.4回
	④	商 品 回 転 率 9.8回

3

①	6	②	7	③	4	④	1
---	---	---	---	---	---	---	---

2	3
3点×8＝24点	2点×4＝8点

4

(1) 決算整理事項

	借 方	貸 方
a	仕 入 4,868,000	繰 越 商 品 4,868,000
	繰 越 商 品 4,092,000	仕 入 4,092,000
	棚 卸 減 耗 損 186,000	繰 越 商 品 186,000
	商 品 評 価 損 63,000	繰 越 商 品 63,000
	仕 入 186,000	棚 卸 減 耗 損 186,000
	仕 入 63,000	商 品 評 価 損 63,000
b	貸倒引当金繰入 28,400	貸 倒 引 当 金 28,400
c	売買目的有価証券 30,000	有 価 証 券 評 価 益 30,000
	満期保有目的債券 57,000	有 価 証 券 利 息 57,000
	そ の 他 有 価 証 券 64,000	その他有価証券評価差額金 64,000
d	減 価 償 却 費 731,600	建物減価償却累計額 210,000
		備品減価償却累計額 521,600
e	特 許 権 償 却 71,000	特 許 権 71,000 ※
f	支 払 家 賃 253,000	未 払 家 賃 253,000
g	退 職 給 付 費 用 217,000	退 職 給 付 引 当 金 217,000 ※
h	法 人 税 等 3,140,000	仮 払 法 人 税 等 1,946,000
		未 払 法 人 税 等 1,194,000 ※

4(1)
※4点×3＝12点